

第3学年 国語科 1年間の学習と評価について

春日部市立豊春中学校

1. 学習目標

【1学年】

- ・自分の考えを大切にし、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
- ・必要な材料を基にして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。
- ・様々な種類の文章を読み内容を的確に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

【2学年】

- ・自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。
- ・様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。

【3学年】

- ・自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。
- ・様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。
- ・目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。

ものの見方や考え方を深め、目的や場面に豊かに表現する能力を身に付ける。

※学年別配当漢字を読んだり書いたりし、文の中で使うことができる。

2. 年間の授業計画と学習のねらい

学年	学習内容	学習のねらい
1 学期	「世界はうつくしいと」 (詩歌) 「握手」 (物語文) 「学びて時にこれを習ふ『論語』から」 (漢文) 【漢字1 熟語の読み方】 「作られた物語を超えて」 (説明文) 「硬筆」 (書写) 「修学旅行記を編集する」 【言葉1 和語・漢語・外来語】	◎詩に込められた作者の世界に対する思いを捉え、自分の意見をもつ。 ◎作品中の表現や、登場人物の置かれた状況、言動に着目して、人物像を捉える。 ◎漢文の言い回しに注意して文脈における語句の意味を捉えて読み、本文を自分たちの生活と関連づけて考える。 ◎漢字二字の熟語には、音または訓を重ねる読み方と、音と訓を組み合わせた読み方があることを知る。 ◎筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現のしかたについて評価する。 ◎行書の基本的な書き方や連続の仕方を学ぶ。 ◎目的や意図に応じて社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にする。 ・和語・漢語・外来語の表現を比較し、感じ方の違いを伝え合う。
2 学期	「俳句の可能性 俳句を味わう」 (俳句・説明文) 「もっと伝わる表現を目指して」 【文法への扉1 すいかは幾つ必要?】 「挨拶—原爆の写真によせて」 (詩歌) 「故郷」 (物語文)	◎筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。 ◎時代の経過による言葉の変化を読み取る。 ◎文の成分の順序や構成など、文法についての理解を深め、日常生活や学校生活の中での表現や読解に生かす。 ◎比喩や象徴的な表現に着目し、作者のものの見方や考え方を捉える。 ◎表現や場面、人物の設定に着目して、内容を読み深める。

	<p>【言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語】</p> <p>【漢字2 漢字の造語力】 「人間と人工知能と創造性」 「初恋」（詩歌） 「古今和歌集 仮名序」 （古典・和歌） 「君待つと一万葉・古今・新古今」 「夏草―「おくのほそ道」から （古典・古文）</p> <p>【文語文法の基礎】</p> <p>「説得力のある批評分を書く」</p> <p>「書き初め」（書写）</p> <p>【文法への扉2「ない」の違いがわからない？】</p>	<p>◎慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。</p> <p>◎漢字を組み合わせてできる造語を理解し、語彙を豊かにする。</p> <p>◎内容の信頼性や客観性を確かめながら、それぞれの要旨を捉える。</p> <p>◎言葉のリズムや響きを味わいながら内容を捉える。</p> <p>◎比喩表現などの表現上の工夫に注意しながら「古今和歌集仮名序」の冒頭部分を音読し、古典の世界に親しむ。</p> <p>◎効果的な表現や語句の使い方に着目して、それぞれの和歌を読み味わう。</p> <p>◎歴史的背景などを考えながら、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつ。</p> <p>◎口語文法と比較しながら、文語文法の基本的事項を理解する。</p> <p>◎社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をし、自分のものの見方や考え方を深める。</p> <p>◎毛筆を行書で書く。点画の連続を理解して出品作品を書く。</p> <p>◎語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間・社会・自然などについて考え、自分の意見をもつ。</p>
3 学 期	<p>「温かいスープ」（随筆） 「誰かの代わりに」（論説） 「わたしを束ねないで」（詩歌）</p> <p>【漢字3 漢字のまとめ】</p> <p>「文法のまとめ」</p>	<p>◎時代背景や筆者の置かれた状況を捉える。</p> <p>◎社会の可能性や困難、自分の生き方について意見をもつ。</p> <p>◎語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意し、自分の可能性や生き方などについて考え、自分の意見をもつ。</p> <p>◎2年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字を読み、適切に使い慣れる。</p> <p>◎今まで習った文法の総復習をする。</p>

3. 評価の観点と方法

《主体的に学習に取り組む態度》

- ・知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている。
- ・前述の粘り強い学習を行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

《思考力・判断力・表現力》

（話すこと・聞くことにおいて）

- ・情報を的確に聞き取り、また、自分の思いや考えを聞き手に伝わるように話している。
 - ・話し合いの話題や方向を捉え、相手の反応を踏まえて話したり、自分の考えをまとめたりしている
- （書くことにおいて）
- ・身近な生活の中から目的や相手に応じた情報を集め、観点を決めて整理し分かりやすい文章を書いている。
 - ・具体的な根拠を挙げて、自分の考え（共感・納得、疑問・反論）を分かりやすく書いている。

（読むことにおいて）

- ・情景や人物描写に着目して登場人物の心情を読み取っている。
- ・文章の要旨を的確に捉え、学習を通じて自分のものの見方や考え方を広げている。
- ・作品の中の語句の意味や表現の特徴を捉え、自分の考えを持っている。

《知識・技能》

- ・語句の文脈上における意味を理解し、言語感覚を磨いている。
- ・漢字の組み立てや成り立ちに関心を持ち、漢字をおおむね正しく読み書きしている。
- ・段落の役割を考える際に、文と文、段落と段落を接続する語句の働きを理解している。
- ・文法の必要性を知り、言葉の単位と文の組み立てと品詞分類を理解している。